



(公財) JKA補助事業 平成25年度事業概要

③ 超電導技術動向報告会

平成 25 年 5 月 20 日 (月) 東京江戸川区・タワーホール船堀で超電導技術動向報告会 2013 を開催した。産・学・官、報道、一般の方々を含め約 138 名の参加者があり、産業化を目指す超電導技術開発の成果と課題、動向が報告され、熱心な討議が行われた。

本会は平成 20 年～24 年にわたり実施し、平成 25 年 2 月 28 日に終了した「イットリウム系超電導電力機器技術開発」のプロジェクトに関する最終成果概要を特別基調講演として行なった。また、電力機器等エネルギー応用、薄膜電子デバイスを含めた超電導機器応用の分野において第一線で活躍されている先生方ならびに研究者から、副題にもなっている「期待される今後の高温超電導基盤技術開発」ということで、高温超電導線材、新超電導物質の探索、高温 SUID 技術を含めた薄膜デバイス、超電導の鉄道分野、洋上風力発電機開発などの研究開発の報告を行なった。

さらに高温超電導関連技術の国際標準化動向における報告も含めて基調講演 2 件、講演 10 件、計 12 件の講演がなされた。

本報告会の開催状況については、電子情報誌「超電導 Web21」の特集号として掲載し、広く情報提供を行っている。



開会挨拶



基調講演



基調講演



会場内

超電導技術動向報告会については、超電導 Web21 バックナンバー2013 年 7 月号に詳細が記載されているためご参照下さい。

http://www.istec.or.jp/web21/pdf/13_07/all.pdf